

带状疱疹 予防 種類

带状疱疹とは

- 水痘・带状疱疹ウイルスというウイルスが原因で発症する病気です。
- 小さい頃に水ぼうそう(水痘)にかかったことのある方は、すでに水痘・带状疱疹ウイルスに対する免疫を獲得しています。
- 症状のない今もウイルスは脊髄に近い神経節で眠っており、ストレスや疲れなど免疫力の低下した時に、ウイルスが再び活性化して皮膚の発赤や水疱ができ、痛みを伴うことがあります。
- 日本人では5～6人に1人がかかるといわれています。

带状疱疹疼痛

- また带状疱疹後疼痛といって皮疹が消失し、带状疱疹が治癒した後も続く痛みがあります。
- 带状疱疹の合併症として最も多く、3ヶ月で7～25%、6ヶ月で5～13%の人が発症しているという報告があります。

年齢を重ねるにつれ水痘・带状疱疹ウイルスに対する免疫力は低下するため、ワクチンを打つことで低下した免疫力を高めることができます。

ワクチンを打つこと带状疱疹になる確率を下げたり、発症しても症状を軽くしたり、带状疱疹後の神経疼痛を軽くする効果が望めます。

- 带状疱疹ワクチンは**ビケン**と**シングリックス**の2種類あります
値段や特性が異なるため、どちらを打つかで悩まれる方も多いです

2023年4月1日～杉並区で助成が出来ます

※ 対象: 杉並区在住で50歳以上のかた

助成が受けられるのは、生涯に1度かついずれか一方のワクチンのみです

2つのワクチンの特徴と違い

	ビケン	シングリックス
特徴	弱毒化生ワクチン(※1)	不活化ワクチン
発症予防	50-59歳で69.8% 60歳以上で51.3%	50歳以上で97% 70歳以上で89.8%
帯状疱疹後神経痛	30%軽減	88%軽減
接種回数	1回	2回(※2)
持続期間	5年程度	9年以上
価格 (助成適応後)	9000円 (4000円)	22000円/回×2回 (12000円/回)×2回
副反応	注射部位の痛み・腫れ 倦怠感、その他	注射部位の痛み・腫れ 倦怠感、その他

※1) ビケンは生ワクチンといって弱毒化されてはいるものの病原性をわずかに残すため、免疫不全状態の方やステロイドなどの薬を内服中の方は接種していただくことができません。

※2) 1回目と2回目の接種間隔は2ヶ月で、遅くとも6ヶ月以内に接種する必要があります。

予防接種の目的である発症および重症化予防、帯状疱疹後神経痛(PHN)の症状軽減を考慮するならシングリックスをお勧めします。

ただ接種を2回受ける必要があり、値段も高いためライフスタイルに合わせた選択をしましょう。

受付で予約をお願いします

コロナワクチンとは2週間あける必要があります

どちらにしようか決めかねている時はご相談ください



大森整形外科